

ル所ノ椀ニ類似セル者四方ニ傳播セシヨリ、世人コレヲ正法寺椀ト稱スルニ至リシナラント、又云ク、南部椀ハ、陸奥ノ三戸郡淨法寺村ヨリ出ヅ、同郡畑村ニテ椀ヲ作り、田山村ニテ漆ヲ塗ル、此ノ地皆南部氏ノ管タリシヲ以テノ故ニ南部椀ト稱セリ、而レドモ南部ニテハ、淨法寺椀トイヒ、他ノ地ニテハ、南部椀トイフト、

○按ズルニ、淨法寺椀トハ、陸奥國三戸郡ノ地ニ於テ製セシ椀ニシテ、内部ハ朱塗外部ハ黒塗ニ爲シ、朱ヲ以テ雲及ビ草花等ノ模様ヲ畫キ、所々ニ金切箔ヲ押セリ、世ニ秀衡椀ト云フ、正法寺椀トハ陸中國江刺郡正法寺ニ於テ用キシ所ノ椀ニシテ、根來俗ニ云フニ塗リシ者ヲ云フ、〔嬉遊笑覽器二用〕加賀ノ城ヶ鼻ノ椀に、金箔繪の中に青、白、赤、黄の色を用ひて繪を書る、古きものに上品あり、

〔和漢三才圖會紀伊十六〕根來寺

昔當寺及境内作朱塗飯器、于今往々有之、稱根來椀、同折敷、其漆塗無今似之者、

〔紀伊國名所圖會和歌上一〕國產之事 根來椀

〔紀伊國名所圖會那賀郡六下〕荒田神社 此ノ地荒田神邊ノ邊は、いにしへ根來寺全盛のときは、みな境内にてありしを、天正十三年のひやうくわにかゝりて荒廢に及ぶ、根來とはやうく椀折敷の異名にのこりて、人々これによびならし、略

○按ズルニ、正應元年、紀伊國高野山ノ僧徒、故アリテ多ク那賀郡ニ移住シテ、根來寺ヲ創立セリ、根來椀ハ蓋シ此時ヨリ製セシモノナラン、其髹法ハ、朱漆ヲ以テ之ヲ塗ル、或ハ黒漆ヲ以テ、臺輪ノ内部ノミ塗リタル者モアリ、全體黒漆ヲ以テ塗リタルヲ、黒根來ト云ヘリ、天正十三年ニ至リ、豊臣秀吉ト戰ヒテ、廢滅セラレ、漆器ノ製モ隨テ廢スルニ至レリ、

〔世間長者容氣二〕子ゆゑの闇に提灯の見通し長者